

(仮称) 橘地域認定こども園整備事業者選定に関するサウンディング型市場調査
個別対話の実施結果〈概要〉

1 実施主体

小田原市子ども若者部 保育課 保育施設係

2 調査期間

令和5年8月2日(水)、4日(金)

3 調査結果の概要

(1) 個別対話の参加者数

参加者数5者(単独4者及び1グループ)から意見及び提案等があった。

(2) 調査結果〈概要〉

ア 本事業における参加意欲の有無
大いにある . . . 3者 参加条件による . . . 2者 その他 . . . 無
イ 参加資格としての実績についての意見及び提案等
主な意見の要約 ・ 公共建築設計や工事監理の実績については、施設面積や新築・改修などの制限を求めないことを希望する。(1者) ・ 配置予定技術者の要件については、各技術者の兼務や協力企業からの配置を認めることなどを希望する。(1者) ・ 実績については、用途や規模のみではなく、施設コンセプトや運用面での満足度なども必要と考える。(1者) ・ ZEB化建築物の設計実績やZEBプランナーの資格の有無を評価に入れることを希望する。(1者)
ウ 小田原産木材の活用についての意見及び提案等
主な意見の要約 ・ CLTやLVLなどの工法にとらわれず、本来の木を木として活用したい。(1者) ・ 集成材を少なくし、無垢材としての木材の活用を行いたい。(1者) ・ 本施設では一部大空間の設計にあたり集成材の使用が必要と考えられるが、神奈川県内にはJAS認定を受けている集成材工場はないため、かながわブランド県産木材品質認証制度による認証を必須としないことを希望する。(1者)

エ ZEB化についての意見及び提案等
<p>主な意見の要約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ZEB化については、程度に応じて対策費が必要と考える。(2者) ・ ZEB化は高气密の施設計画となるが、就学前教育・保育施設としての開放性などの面で制約条件となると考える。(1者) ・ ZEB化のみではなく、計画地の自然環境や子供たちの環境への配慮が必要と考える。(1者)
オ 対応可能な地域貢献についての意見及び提案等
<p>主な意見の要約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内企業への業務委託、下請け発注、建設資材等の発注、役務の発注など、いろいろな方法が考えられる。(5者)
カ その他、本事業の効率的かつ効果的な実施に関する意見及び提案等
<p>主な意見の要約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物価上昇に対する配慮が必要と考える。(5者) ・ 建設労働者の不足について配慮が必要と考える。(1者) ・ 木造建築物の設計においては、耐火構造と準耐火構造では全く違う設計となるため、木造耐火建築物として設計する場合は基本設計段階より木造耐火建築を熟知しておく必要があると考える。(1者)

以上